

基本情報

指標番号
2175

名称
急性心筋梗塞患者におけるスタチン投与割合

分母
急性心筋梗塞で入院した症例数

分子
分母のうち、スタチンが投与された症例数

指標群
循環器系疾患 薬剤

意義
治療内容をみるプロセス指標

年度
2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット
DPC 様式 1,F ファイル,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

| ICD-10 コード | 病名 |
|------------|--------|
| I21\$ | 急性心筋梗塞 |

3. このうち、退院日が入院後 3 日以降である症例。（入院日を 1 とする）。
4. このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

| 退院時転帰 | 説明 |
|-------|----------------------|
| 6 | 最も医療資源を投入した傷病による死亡 |
| 7 | 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡 |

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. スタチンが処方された症例（持参薬登録を含む）。

| 薬価基準コード 7 桁 | 成分名 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 | 2022 |
|-------------|--------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2189010 | プラバスタチンナトリウム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2189011 | シンバスタチン | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2189012 | フルバスタチンナトリウム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 薬価基準コード7桁 | 成分名 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 | 2022 |
|-----------|------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2189015 | アトルバスタチンカルシウム水和物 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2189016 | ピタバスタチンカルシウム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2189017 | ロスバスタチンカルシウム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2189101 | エゼチミブ・アトルバスタチンカルシウム水和物 | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 2189102 | エゼチミブ・ロスバスタチンカルシウム | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 2190101 | アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2190102 | アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2190103 | アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2190104 | アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

その他

薬剤一覧の出力
いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法
分子÷分母

指標の単位
パーセント

結果提示時の並び順
降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。
2. エゼチミブ,ロスバスタチンカルシウム 2019年5月新規合剤販売開始で追加。

参考資料

参考値

1. QIPの過去の指標では40%前後。ただし、この値は退院時に限っていないので低くすることが予想される。

参考資料

1. 日本循環器学会ほか,心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2011年改訂版),2011
2. 日本循環器学会他,急性冠症候群ガイドライン(2018年改訂版)